



大城拓也 (おおしろ たくや / 染織家)
プロフィール
1973年12月24日生まれ 沖縄県南風原町出身
1995年大塚テキスタイル専門学校卒業後、祖父であり、現代の名工にも選ばれた大城廣四郎氏の「大城廣四郎織物工房」勤務。
2003年にNUNU workshop設立。(ぬぬとは、沖縄方言で布の意味) Yen JeansやBeams、雑誌Leon等と、琉球正藍手織りのコラボレーションで、ファッション業界でも注目を集めている。

若き職人が目指す、伝統工芸と新しいスタイルの融合。

くりに関わることになったんです。アパレルメーカーとの仕事を始めた時、戦後、何も無いところから始めて、織物に対して新しい取り組みをしてきた祖父は、何でもやりなさいと賛成してくれましたが、父は反対でした。それは織物で生計を立てることが難しいことや父としては、伝統を守りたいという気持ちが強かったからなんだと思います。僕は、ゆくゆくは伝統を継承するつもりでいますし、今しかできないことがあるとも思っているんですね。例えば、三十年代と五十年代では、物の見方や時代性を感じ取る能力が感覚的に違うと思うんです。そういう今しかできないことをやってみたいんです。

創りだすもの、受け継ぐもの
僕はデニムだけではなく、着物でも何でも作ります。最近では、独特の色づかいの織物を作るスウェーデンやフィンランドのイメージで、琉球藍の色や模様、素材を変えながら北欧の感じを出したりもしています。周りには、変なことばかりしていると思われるんですが、僕は伝統工芸のスタイルを変えずに、伝統工芸ではないように見える工夫をしているだけ。僕の作っているデニムも、昔ながらの木綿織物の呼び名と織り方を変えただけなんです。琉球藍や手織りを世の中



手織りでつくる琉球藍のデニム生地

学校だと知ったんです。そこには、僕が入った伝統工芸科とテキスタイル科があったんですが、テキスタイル科は、デザイナーの伊ッセイミヤケさんが講師になっていて、最先端のことを学ぶんです。それが僕には羨ましくて仕方がなかった。でも、学ぶうちに、洋服も伝統工芸も、ただ表現の仕方が違うだけで、結果的にやっていることは一緒



染織物を始めたきっかけ
伝統工芸に携わる家系に育ちましたが、この仕事を本格的に始めたのは、二十一才くらいからです。それまでは、祖父や父が何をしているか興味もありませんでした。僕は洋服の方に興味があって、何でもいから東京に行きたいと思っていました。ある時、父が「そんなに(東京に)行きたいんだって俺が薦める学校に行ってみるか」と言ってくれて、でも、そこがどんな専門学校かは分からなかったんです。実際に行ってみて初めて、最先端の生地から伝統的な生地まで、生地全般を学ぶ

おきなわ 夢人列伝 ゆめんちゅれつでん

三世代で守り続ける伝統に等身大の新しい風を紡いで。

大城 拓也



後ろは織りを担当する原千絵さん

卒業後は、家の染織物の仕事を手伝うために沖縄に帰りました。僕は、学校を卒業したら一人で何でもできると思っていましたが、実際はできなかった。作る規模や商品としてのクオリティも足りない。あと、沖縄では数字の読み方や道具の名前も方言になっ

新しいもの作りとの出会い
僕が今のような藍染めの手織りデニム生地を作る仕事を始めたのは、染織物の生地を使ったファッションショーを見てから。素材を生かしながら、若い人にも受け入れられて自分も着たいと思える服づくりをしたいと思うようになり、織りを担当している原さんと一緒にネクタイやシャツなどを作り始めました。その後、二〇〇〇年の沖縄サミットに向けて県の工芸指導所から沖縄工芸を生かしたファッションを創る企画があって、そこからデニムの素材づくりに向けての出会い

編集後記

あけましておめでとうございます。今年の目標は、沖縄の隠れた食材を味わうこと。まずは、中華のカリスマ道筆シェフが惚れ込んだという幻の食材「今帰仁黄金鳥(くがにどり)」から。マース煮や唐揚げなどがうまいらしい。(ほり)
あけましておめでとうございます。お正月といえば初詣。日頃苦手な人混みの中でも、この日だけはすがすがしい気持ちに。1年の計は元旦にあり。新たな気持ちでがんばります。今年もよろしくお祈りします。(*^_^*)(あるく)

沖縄県広報誌 平成19年1月1日発行第31巻1号通巻376号



企画・編集 沖縄県広報課 制作・印刷 株式会社 宣伝
発行 沖縄県広報課 〒901-2122
〒900-8570 浦添市勢理客四丁目15番15号
那覇市泉崎1-2-2 電話 (098) 871-2111
電話 (098) 866-2020

沖縄県
広報番組
テレビ・ラジオ

1月放送予定

6日・7日 / 新春知事インタビュー
13日・14日 / 沖縄県芸術文化祭
20日・21日 / 健康食品の誇大広告
27日・28日 / 花と食のフェスティバル

テレビ / 放送時間
●RBC 6:15 ●GAB 11:30 ●OTV 11:30

<http://www.pref.okinawa.jp/> 沖縄県ホームページ→広報課(テレビ・広報誌等)

ラジオ県民室

「ラジオ県民室」ではお昼のひととき、県が実施する行事、催し物、各種試験や募集のお知らせなどを行っております。

ラジオ / 放送時間 毎週月曜日～金曜日
●ラジオ沖縄(864KHz)12:10～12:15
●RBCラジオ(738KHz)11:55～12:00
●FM沖縄(87.3MHz)12:55～13:00

番組に対するご意見・ご感想をお待ちしております。 県広報課 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 e-mail:kouhou@pref.okinawa.lg.jp